

麻生区区民会議委員からの課題提案一覧

資料5

全体テーマ「心が響きあう地域づくり」

	課題名	課題内容	課題解決策の検討	委員名
1	<p>「CC かわさき」地球温暖化防止を率先して実践していく区、「エコのまち麻生」を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町づくり、環境（緑地保全、地球温暖化防止等）、廃棄物など関連団体の連携をはかり、地域住民とも交流して実践していくことが大切。 ・ できることは何でもやってみる。東京都のCO2削減条例のように川崎市議会にも制度の面から対策できるよう働きかけていく。そのためにも、まずは麻生区でできることを推進していくのが大切。 ・ 市民ができる環境貢献の第一歩として「ごみ」は身近であり、CO2削減に有効です。ごみの減量を推進することで、環境への関心を高める。減量指導員・環境リーダーの有効な働き方、あり方なども検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異なる分野の活動が連携できる拠点づくりとして、実践の中心を担う環境館を設立。（王禅寺のリサイクルパークなどを検討） ・ 全公共施設（小中学校含）での自然エネルギー利用を進め、緑のカーテン、省エネ機器への転換などを進める一方、市民も参加（市民ファンドなど）できる市民共同発電所設置等を進める。家庭にも、自然エネルギーを利用しやすい補助や情報提供を行う。 ・ ごみ有料化した資金を環境（太陽光パネル設置補助等）にまわす提言などしていくための、第1歩としてレジ袋の有料化を進めるべく働きかける。（レジ袋を使わなくてすむライフスタイルの提案実践など） 	天野委員
2	<p>地球温暖化対策を含めた持続可能な社会をめざす「エコのまち麻生」のまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川崎市地球温暖化対策（CC かわさき）と連動し、麻生区の特長を活かした麻生区としての対策及びまちづくりが必要。 ・ 持続可能な社会又は循環型社会のまちづくりには、農業、都市緑地の保全と復元、ごみの削減とリサイクル（生ごみ堆肥化と農業との連携、資源循環と地産地消）、雨水利用や河川及び上下水道問題などの検討要。 ・ 小中学校での環境体験学習・教育及び区民の学習などを進め、「エコのまち麻生」の具体的イメージづくりが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設への太陽光発電設置と雨水利用などの検討（保育園、学校、公営集合住宅、病院など公的施設への設置を検討する） ・ 「エコのまち麻生」を目指すまちづくりへの提言（エコ憲章など）の検討。 ・ 「エコのまち麻生」を目指すネットワーク（例えば「エコのまち麻生」を考える会と行政、事業者、区民の協働に基づき「エコのまち麻生」のまちづくりを目指す実行委員会など）の検討。 	伊藤委員

3	地球温暖化による環境の悪化を解消する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑を家庭で増やすこと。CO2 を各自で減らす事。自動車の排気ガスの制限（ドライバーの出来ること） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の内容の中に解決策も含まれているので、それをもっと具体的に考えていけば良いと思います。 	神本委員
4	コミュニティー作り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市型コミュニティーを進める。隣り組のコミュニティーの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の内容の中に解決策も含まれているので、それをもっと具体的に考えていけば良いと思います。 	神本委員
5	区民主体による文化芸術のまちづくり	<p>川崎市文化芸術振興計画が策定され、その実行が求められています。2008～2013年が振興計画の期間です。</p> <p>来年の4月下旬から5月の連休に開催される芸術祭は市・財団・麻生区の主要な文化施設が中心であることから、今後、区民主体での芸術フェスティバル等も考え、検討する必要があるのではないか。</p> <p>区民の心が響きあう何かを育みだすことや、さまざまな商店会、子ども会、福祉、町会、文化団体や幅広い区民が参加していることから検討できるのではないかと、又、文化芸術のまちづくりを標榜している麻生区であることから区民会議の課題になりうるのではないかと考えた為に提示した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民の文化芸術活動や文化資源の情報の一体化の為の現状把握 ・ 高度な資源を生かした人材育成（講座や講演等への活用） ・ 文化資源を生かした区民による区民参加と協力による芸術フェスティバル等の実施 ・ 子ども、青少年、障害者、高齢者等の文化活動への支援や交流 ・ 文化芸術を生かした経済活動の振興と実現 ・ エコの推進と文化活動との連携 ・ 文化芸術を生かした都市間交流や国際交流 	菅原委員
6	異世代間の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 核家族が増え、子育て世帯・高齢世帯の孤立が目立つようになり、そこから生じる問題が増えている。 ・ 同世代の交流も大切だが、地域社会には子どもから老人まで様々な人がいて成り立っているので、異世代の交流を積極的に行うことはとても重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域での実践状況の検証と取組の事例紹介 ・ 実践している団体などとともに、交流の場の増大に取り組む 	谷川委員
7	麻生区民にとっての「しんゆり芸術のまちづくり」の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「芸術のまちづくり」を麻生区でどのように活かすか。 ・ 駅周辺だけでなく、どのようにして広がりをもたせるか。 ・ 麻生区民が参加しやすい「芸術のまちづくり」とは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麻生区民限定の芸術ポイントカードの導入 ・ お母さん方が芸術文化に親しむためのアート保育所の創設 ・ 公教育における芸術文化授業の実施 	寺川委員

8	地球温暖化防止策の一助としての緑化運動	<ul style="list-style-type: none"> 麻生区は緑の多く残る区とされているが、住居地開発により緑地は減少傾向にある。 北部公園事務所の管轄化にある公園の中に、手入れが行き届いていない公園が見られる。環境の悪化にも結びつく。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都が実施している校庭の芝生化や公園の芝生化 公園を対象とした愛護会づくりの啓発 	根占委員
9	弱者（高齢者、各種障害者等）に優しい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 弱者の自転車やバイクによる事故が多い。 歩行中の弱者を手助けする人が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 車道の両サイドに設置してある歩道は、歩行者専用歩道とする。 歩行中の弱者が、何か困った状況にある場合には、積極的に手助けする運動の啓発。 	根占委員
10	「チョイボラ隊」の結成	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動、市民活動を担うメンバーの高齢化に伴う様々な問題の表出（例）機材運搬等の車の運転、イベント時の会場設営 一方で若い世代、現役世代の参加し易い仕組みづくりが真剣に考えられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 団体・グループから協力してほしいことの具体的内容を何かできることをしたい区民への呼びかけをセットで実施。 中高大学のサービ斯拉ーニングとの連携なども積極的に活用する。 「市民活動支援」を柱の1つに掲げている麻生まちづくり市民の会・あさお市民活動サポートセンターなどが窓口になり、各種団体と連携協力し「サポートしてほしい」と「サポートしたい」をつなげていく。 	守田委員
11	子育て	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者はある面優遇されている。0才～6才児について考える必要がある 麻生区には自然が多くあるが、多くは個人の所有である自然を守るためには所有者・行政で考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てについては遊び場を増し、情報を提供し交流の場をもうける。 里地里山を守るには里山を整備し、市民と行政で美しい緑の里地里山を共有できるのでは。 	山崎委員